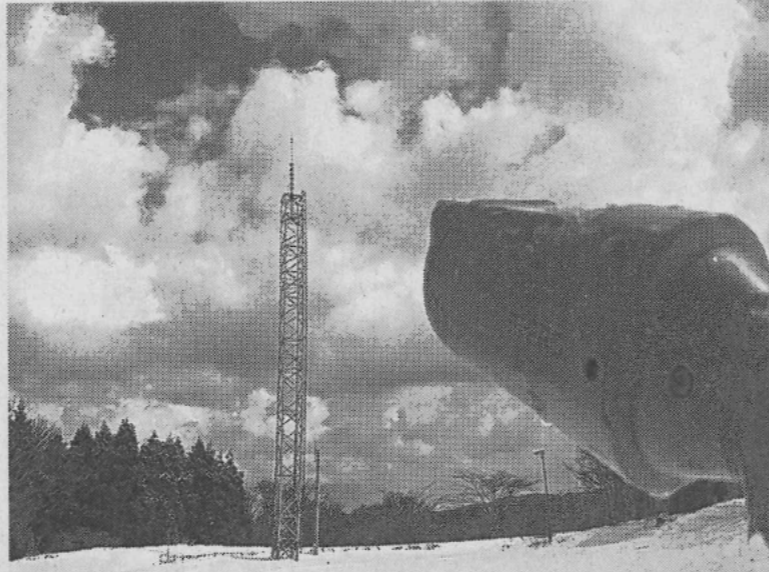


避雷設備の実験施設運用開始

電気工事業のセイクン 石川県の山中でデータ収集



石川県内の山頂に設置した実証設備



上野晃社長

実証用の鉄塔は昨年8月、石川県白山市の山頂(標高6500m)に建設した。冬場の雷が多く、一冬で数十回の落雷があるという。鉄塔の高さは30m。塔上に約200の避雷針を取り付け、各種センサーや計測

落雷を効果的に防ぐ技術確立へ

用の機器類なども設置した。投資額は約3千万円。鉄塔の状態をリアルタイムの映像で確認できるよう、米国の衛星通信サービス「スターリンク」も活用している。現在は積雪のため、雷解けを待つて設置した計測機器のデータを回収。雷研究者の知見も得ながら分析作業を進める。

同社は電気工事業の技術を生かし、2017年ごろから避雷設備の施工に力を入

電気工事業のセイクン(本社名古屋市中区赤坪町2-13の1、上野晃社長、電話052-8221-2176)は、避雷技術の実証・試験を本格化する。石川県内の山中に建設した鉄塔を用い、今冬から落雷データの収集を始めた。建物や風車への落雷を防ぐ欧州製の避雷設備の施工に力を入れており、実証データをもとに今後の受注につなげたい考え。開発に関心を持つ企業や大学などにも共同研究を呼び掛ける。(小島圭司)

上野社長は「落雷被害を効果的に防ぐ技術を確立したい。被害防止の向上を狙いに技術者や研究者などと連携したい」と話している。

名古屋

情報は名古屋デスクへ

TEL052(561)5212

FAX052(561)5207

WEBでの申し込み

中部経済

検索

売買・賃貸仲介専門
お任せください!

部屋
セレブ



S-POINT